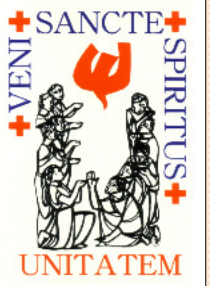


2021年3月14日 (第200号)
発行所 カトリック高松教区 広報委員会
〒760-0074 高松市桜町1-8-9
TEL 087-831-6659 FAX 087-833-1484
Email
教区:catholic-takamatsu@takamatsu.catholic.jp
広報:tk-koho@mxi.netwave.or.jp
生涯養成:yousei@takamatsu.catholic.jp
WEB http://www.takamatsu.catholic.ne.jp/



カトリック 高松教区報

マザー・テレサの言葉

単にはほえむだけで、どれほどたくさんの善をもたらすことができるのか、わたしたちは、決して知ることができないでしょう。ほえみは、人にやさしくふれるようなものです。わたしたちの命の中へ、神様の真のひとひらを運んできてくれるのです。

教区報200号発行

創刊から51年 教区の歩みを記録

高松教区報は創刊200号を迎えました。教区信徒の皆様、そしてこれまでに携わってくださったすべての方々に御礼申し上げます。教区報は1970年に「四国信徒だより」として創刊され、当初年4回発行されました。1995年82号で名称を「高松教区報」と変え、2002年に100号を発行しました。2005年からは年6回奇数月の発行となり、創刊から51年あまりの歴史を刻みきました。

この間1997年頃からは、編集作業を教区事務所のパソコンにより自動化できるようになりました。体裁もB5版、A4版の白黒印刷でしたが2009年127号からA3版カラー印刷となり、2019年から再び白黒印刷となりました(インターネット版はカラー)。教区報は教区の歩みの記録、歴史そのものです。様々な行事や活動をたくさん紹介して、教会の姿をお伝えしていきたいと思っています。各教会活

動団体、また、個人の活動でも情報をお寄せくだされば幸いです。皆様のご協力をお願いいたします。(教区広報) 前教区広報委員長の谷口広海助祭から寄稿していただきました。

教区広報にたずさわって

高松教区助祭 谷口広海 教区報第200号記念号を発刊を心よりお祝い申し上げます。

高松教区報をここまで途切れさせることなく続けることが出来ましたの

「主の栄光」を表すために協力し合おう

キリスト教一致祈禱週間におもむくこと

使徒ヨハネ 諏訪榮治郎



第二バチカン公会議はキリスト教諸教会一致のため、互いの対話を勧めてきました。今年も1月18日、25日に一致祈禱集会が持たれる予定でしたが、コロナ感染防止のため、招きあう集会ではなく各教会ごとの単独集会

が持たれました。テーマは「私の愛にとどまりなさい」(ヨハネ15章5節)でしたが、合わせて第一コリント書1章10も読まれました。そこにはコリントの教会の派閥争いがパウロによって叱責されています。『私はパウロにつく、私はアポロにつく、わたしはペトロにつく、わたしはキリストに』と言いつつ争っているとは何事か。初代教会にもすでに分裂があったとは驚きです。

2000年に及ぶ教会の歴史は確かに「改革の歴史」です。2000年に及ぶ教会の歴史は確かに「改革の歴史」です。2000年に及ぶ教会の歴史は確かに「改革の歴史」です。

のわからないほどです。キリストのブドウの木が無数に枝分かれして今日に至っています。しかし今思うことは、互いに排斥しあうのではなく、「わたしはあなたを愛した」という私たち一人一人が主と愛されている存在である事実を冷静に受け止めたとき、互いに尊敬し、この社会で「主の栄光」を表すために協力し合うことが大切ではないでしょうか。それぞれの霊的体験から生まれたキリスト教会が「組織」として統一一致するのは困難でしょう。むしろ「すべての命を大切にすること」の奉仕者(宣教師)として協力し合うことが一致となることではないでしょうか。

創刊にあたって 70年へのびる 四国の信徒 四国信徒だより 45.1.1

思えば教区広報担当と教区報発行の任を命じられたのは12年前の2008年のことでした。当時、教区終身助祭候補として高松教区に身を置いたばかりで、どういう役割が与えられるのか全く想像もつかなかった私に、触ったこともないパソコンツールによる仕事が与えられ、まさに青天の霹靂とはこういうことだと不安のどん底にいたことを思い出します。幸いにも、当時はしっかりと組織された「教区広報委員会」が十分に機能していて、何の経験も

はばたき NHKスペシャルで放送された「2030未来への分岐点」を見た。番組の冒頭、20年〜70年後の未来からこんなメッセージが届く:「2030年までの10年が地球と人類の未来を決める」:描かれる未来の東京は絶対にこんな未来にはいけないと思わせるほど有様だ。番組では、これからの10年で私たちが何をすべきかを考えていく。3回の放送で取り上げられたテーマは「温暖化」「食糧不足」「プラスチック汚染」。私たちの多くが、対策を講じなければならぬと知っていることからである。未来からのメッセージは「2021年には科学者が警告したり、世界のリーダーが話し合っていたはずなのに、君たちは何も対策を講じなかった」と責める。そして私たちに与えられた時間が10年だといふのである。最新の研究の結果は悪い話ばかりで落ち込むが、あちこちで行われている活動、特に若者の姿には勇気づけられる。マイボトルやマイストローなど環境に配慮した生活が当たり前だという若者、レジ袋の廃止を世界中に呼びかける若者。そして若者は現在の状況を生み出した「大人」に怒りさえ感じているようだ。それはまさに「大人」にあたる私にはドキッと瞬間であった。我が子が生きる未来の世界をひどい有様にするわけにはいかない。私のやるべきことに、少しずつでもしっかりと取り組んでいこう。

昭和45年1月1日付創刊号

パスクアル神父から近況報告

未来の教会の土台を作る時代

前本部事務局長・丸亀
教会主任のパスクアル
神父から1月8日に近
況報告が届きました。

みなさん、こんにちは。
まず、ちょっと遅いけど、
明けましておめでとうご
ざいます。長く連絡しな
いで、本当に恥ずかしい
です。ごめんなさい。年
賀状も書かないで、この
冬は変なクリスマスを通
ごしました。

スペインもコロナの感
染は広がっていますが、
今までは、お陰様で、私
も父母も元気です。母は
10月にころんでしまい、
腕を骨折しました。年を
取っているので入院し手
術も必要でした。私は長
男として側にいなければ
なりませんでしたが(スペ
インの習慣ですが、患者

が入院する時には一人で
はなく、側で世話をする
家族の誰か一人が必要で
す)。久しぶり夜の病院の
雰囲気味わい、隣のお
祖母ちゃんの苦しみを
見て、かわいそうに思っ
ていました。母もよくな
い夜を過ごして幻覚があ
り、私を見ても名前が分
からなかった。年寄り
は家から離れると大変ら
しい。でもおかげさまで、
コロナの感染の第二番目
の波なのに、母も私も感
染しない(病院は一番
危ない場所です)、今も
だりハピリに行っていま
すが、回復してきました。
安心しました。

たら、父は必ず天国に行
くと。田舎の人は自
然を触らない時には、す
ぐ天国に呼ばれると思う。
それ以外のことは、
甥と姪は私の喜びです。
父と母も、孫と会うこと
がとても楽しいです。ま
た、弟や義理の姉妹と会
うことも楽しいです。久
しぶりの家族再会のため
に感謝します。父母がい
つまでそばにいて下さる
のか分かりませんが、私
は、今、二人の世話をし
なければならぬことを
感じます。

故奥村一郎師が作られた「そのままに」です。私
は座右の銘として祈っています。
「何も考えないで、何も思わないで、ただそのまま
に生きたい。悲しいことも、楽しいことも、淋しい
ことも、つらいことも、あるけれど、悲しみは悲し
みのままに、楽しみは楽しみ、ま
まに、そのままに生きたい。この
地上のことは、みんな、いつかは
消えて行く。万物流転、嫌なこと
も、楽しいことも。小鳥が小枝で、虫が草むらで鳴
くように、そのままに生きたい。あまり窮屈なこと
をいわないで、あまり自分の好みを人に押し付けな
い、みんな、そのままに自由な空気を吸って生き
たい。神様は、何一つも同じ素質を同じようにお与
ます。四国と同じように、
田舎はどんな国でもその
国の魂だと思えます。ま
だまだ自然の生活を味わ
うことが出来ますし、よ
かったと思います。今、
スマホやパソコンなどの
メディアをあまり使わな
い直接に村人と繋がる
ことができ、一番好き
なことです。これこそ、
私のメディアです。いつ
か、日本の人にもこの雰
囲気を見せたいと思いま
す。司牧の状況は大変です。
高松教区だけの問題では
なく、全世界的に大きな
試練に直面しています。
時代は変わってきたと思
います。戦争よりはこの
危機の方がいいと思いま
すが、長く続くので、亡
くなった人だけの問題で
はなく、精神的に悩んで
いる人も大きな問題だと
思います。引きこもって
いる司牧の人数も増えて
いますし、また、大きな
教区でも停滞しがちで、
だんだん人々が信仰から
離れているようにも見え
ます。本当に恐ろしい時
です。もちろん、小さい
教区と小教区が一番危な
いと思います。ですから、
高松教区の皆さんの心配
はよく分かります。私も
同じです。

いのり

えにはならなかったのだから、小さいものは小さい
なりに、大きいものは大きいなり、そのまま、与え
られたそのままを、恥ずかしがることも、恐れるこ
ともない。そのままうけて、主を讃えよう。狭い心
にならないように。間違えたら、いいじゃないか。
間違っても、そのまま受け取れば、少しは謙
虚の薬になる。神さまは、私たちが、失敗
することを責められない。そうしたこと
にこだわって、いらいらしたり、むやみに、
自分をいじめることを、嫌われる。何も考えないで、
何も気にしないで、そのままに、うけて生きよう。」
諏訪榮治郎司教

神様のメッセージ、神の
言葉は何でしょうか？こ
の今の時を通して、神様
は私たちに何を伝えたい？
私たちは深く考えなけれ
ばなりません。過去の時
代とともに、過去の教会
は無くなっていくと思
います。急に起こったこと
ではないが、もう二度と、
私たちの知っていた教会
の姿や組織に作り直すこ
とはできないでしょう。
ですから、未来の教会の
土台を作る時代だと思
います。しかし、これに気
付いてない人も多いので、
私は自分がそれを考え深
めるために、神さまから
小さい教会に送られたの
かと考えています。これ
も、神様のしるしだと思
っています。馬小屋も十字
架も小さい場所でしたが、
神様はその場所から、私
たちを救いました。です

でも、日本のことを思
い出したり考えたりしな
い日がありません。例え
ば、昨日の朝早く、司祭
館から出ると、二人のお
爺ちゃんは広場で立って
朝の挨拶をしてくれた。
私は答える時、日本語で
「おはよう」と言っていま
す。二人の驚きの目を見
て、すぐ分かりました。
「ああ！スペインにいる」
と。また、時々、朝に起
きると、丸亀に住んでい
ると考えています。マス
ター(修士課程)の卒業
の後、日本に戻っても長
くは日本におれないこと
を知ってたけど、その三
年間は素晴らしい。四
国の生活にすぐ慣れて、
たくさん友人が出来て、
とてもよかったと思いま
す。日本に戻ったら、必
ず四国に戻りたいと思
います。母は日本の話を聞
きたくないです。聞くと、
すぐ怒ってしまう。ジュ
ラシー(嫉妬)があると
思う。

私先週に53歳になり
ました。新しい教会とス
ペインの刑務所に慣れて、
楽しい生活をしています
が、先のことはあまり考
えていません。どうして
司教さまが田舎の二つの
小さい教会に私を送って
下さったことか分かりま
せん。でも感謝します。
ここでは大きな町と比べ
たらとても楽しい人生を
送ることが出来ると思
います。病気の人の
保護者です。病気の人の
癒す聖像と思われてい
て、一番いい病院の名前
でもありません。

写真のマリア様はアリツ
サカ (ARRIXACA) の聖
母です。この聖母の御像
は、中世に畑の灌漑用水
路の中に見つけられた聖
像です。おそろくイスラ
ム教徒のスペイン侵入の
時に、信者たちによって
隠された像だったのでし
ょう。ムルシア州(私の地
方、ムルシア州の首都)



(写真の説明)

写真のマリア様はアリツ
サカ (ARRIXACA) の聖
母です。この聖母の御像
は、中世に畑の灌漑用水
路の中に見つけられた聖
像です。おそろくイスラ
ム教徒のスペイン侵入の
時に、信者たちによって
隠された像だったのでし
ょう。ムルシア州(私の地
方、ムルシア州の首都)

写真のマリア様はアリツ
サカ (ARRIXACA) の聖
母です。この聖母の御像
は、中世に畑の灌漑用水
路の中に見つけられた聖
像です。おそろくイスラ
ム教徒のスペイン侵入の
時に、信者たちによって
隠された像だったのでし
ょう。ムルシア州(私の地
方、ムルシア州の首都)

写真のマリア様はアリツ
サカ (ARRIXACA) の聖
母です。この聖母の御像
は、中世に畑の灌漑用水
路の中に見つけられた聖
像です。おそろくイスラ
ム教徒のスペイン侵入の
時に、信者たちによって
隠された像だったのでし
ょう。ムルシア州(私の地
方、ムルシア州の首都)

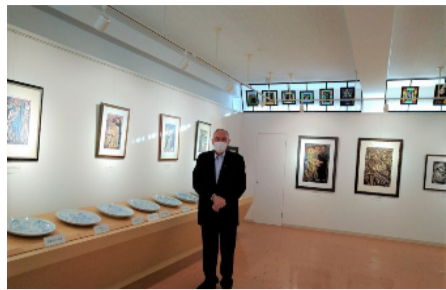
地区・ブロックの話題

愛媛地区

聖カタリナ大学アルベルト・カルペンティール宗教学会ギャラリーと宇和島教会

聖カタリナ大学構内には、ドミニコ修道会アルベルト・カルペンティール師の宗教画ギャラリーがある。訪れた方も多いことだろう。聖カタリナ大学のホームページには、詳細が公開されている。このギャラリーは、2008年に開館したアルベルト・カルペンティール師(ベルギー)個人の作品を展示するギャラリーであり、ステンドグラスや砥部焼、版画などの展示館の他に、新たに油絵の展示館が開館した。

カルペンティール師は1937年に聖ドミニコ修道会に入会、1949年に宣教師として来日し、東京芸術大学で日本画を学んだ。1958年に帰国後は、郷里ベルギーアントワープ国立美術学校



ホビノ・サンミゲル聖カタリナ大学学長

でステンドグラス制作を学んだ。その後、東京都に在任して創作活動を行い、これまでに日本、ベルギー、オランダ、カナダ、アメリカなど世界各地で個展を開いた。キリストの生涯や黙示録などをテーマに描いた宗教画は内外の高い評価を受けた。師は、2014年母国ベルギーに帰国した。2016年、米国セントルイス大学アキナス神学研究所(ドミニコ会)より、ドミニコ会800年記念の年にあたって、学位記(名誉博士号)を授与された。

2020年カルペンティール師は、101歳の生涯をとり、その膨大な美術遺産は、聖カタリナ大学の建学の精神に基づいて、学生への宗教的教育に役立てるために、聖カタリナ大学のギャラリーで管理している。聖カタリナ大学は、愛媛県で4つめの看護学科を2017年に開設し、今年のCovid-19のパンデミック下において、看護師養成の重要性が一層、増し

ており、聖カタリナ学園の貢献が期待される。実は、ホームページには紹介されていないが、カルペンティール師は2021年に創立100周年を迎える愛媛地区南予ブロック宇和島教会とは、とても深い関係がある。下の写真は、1998年に改築された現宇和島教会聖堂内部正面である。一般の聖堂にみられる正面十字架の位置に、カルペンティール師が、復活されたキリスト像を描いている。祭壇中央壁面に十字架があるかなにかについて



ギャラリー入り口(上) ステンドグラスと版画(下)

の意見は結論あると思われ、祭壇に

の意見は結論あると思われ、祭壇に



宇和島教会内部正面(左) 描かれている「復活されたキリスト像」(右)



「夜の長さにはうづくまり、いらだたせて夜明けを待つ...」ヨブの言葉です(7・4)。期間が切れた(オーバー)なぜこんなことが起きるのですか? コロナ感染防止のために営業を制限された、お世話になっていない「独居老人」があちこちに見つかりました。わたしはホームレスになりました。昨夜の報道番組からです。思い出すのは「阪神淡路大震災」(1995年1月17日)のことです。家を失った人々

光は闇の中で輝いている

光を探すよりも、光になりなさい

が町のルールとなったのができました。「よかったのです。自分を忘れて周りね。これから自立できるの人のことを気遣ったのね。自炊も頑張るんだよ。」と呼ばれ、多くの若者が週間経ったある日、彼は現地救援本部(被災した元のホームレスの場に帰る教会)に集まり、目まぐるしい救援活動をしたのたのはアパートではなく、見えてきたことは、その仲間だったのです。つまた地に住所を登録していなとは社会的な孤立となつて生きてきた部隊があつたことが語られています。

「夜の長さにはうづくまり、いらだたせて夜明けを待つ...」ヨブの言葉です(7・4)。期間が切れた(オーバー)なぜこんなことが起きるのですか? コロナ感染防止のために営業を制限された、お世話になっていない「独居老人」があちこちに見つかりました。わたしはホームレスになりました。昨夜の報道番組からです。思い出すのは「阪神淡路大震災」(1995年1月17日)のことです。家を失った人々

八幡浜教会のステンドグラス



2020年5月30日に再建した八幡浜教会の正面十字架の上段には、新しいシンボルとなるステンドグラスが作成された。制作者は、東京の「璃房ステンドグラス五味理氏」である。会社HPにも施工例として掲載されている。十字架がアレンジされているのが確認されるだろうか。(https://e-ribo.com/enforcement/enforcement_cases/public/)

教区広報から

教区広報委員会では、教区報・インターネットで教区内小教区の情報を幅広くお伝えしていきたいので、皆様からの情報提供をお待ちしています。小教区の広報誌・新聞などに掲載された記事も歓迎です。各地区の広報委員を通して又は教区広報に直接、ニュースをお寄せください。

諏訪榮治郎司教

宇和島教会100周年続報

100周年を迎えた宇和島教会

アウグスチヌス 堀内伊作 口神父様から武田神父様、モ高松番町教会と私たち宇和島教会は、本2021年に創立100周年を迎えました。ス神父様、マテオ神父様(再明治以降、南予(愛媛県南任)、アルバロ神父様、ラファ部)宇和島の地にパリー外国エル神父様、イグナシオ神父宣教会によって初めて福音宣様、ホルヘ神父様、田中正史教の種が蒔かれたのは1891年でありました。その後四1年であります。神父様お一人お一人の宣教を委ねられた聖ドミニコ修道会は、教会の現在地にあつた2階建て家屋を購入し、聖ドミニコ小聖堂と名付け、ミサが行われるようになりました。そして1921年、聖ドミニコの帰天700年の記念行事の一環としてドミニコ会により最初の教会堂が建てられました。初代主任イシドロ・アダネス神父様は、この教会建設と1928年の愛和聖母幼稚園(四国で2番目のカトリック系幼稚園)設立に力を尽くされました。イシドロ神父様は1954年まで宇和島で宣教を続け、以来12名の神父様が宇和島教会に着任されました。初代イシ

◇教区スケジュール◇

- 3月
 - 5日(金) 性虐待被害者のための祈りと償いの日
 - 7日(日) 四旬節第3主日
 - 9日(火) 司祭評議会 Zoom会議
 - 14日(日) 四旬節第4主日
 - 17日(水) 日本の信徒発見の聖母
 - 19日(金) 聖ヨセフ
 - 20日(土) 春分の日
 - 21日(日) 四旬節第5主日
 - 24日(水) 経済問題評議会
 - 25日(木) 責任役員会 Zoom会議
 - 25日(木) 神のお告げ
 - 28日(日) 受難の主日(枝の主日) 聖週間
- 4月
 - 1日(木) 聖木曜日(主の晩さん)
 - 2日(金) 聖金曜日(主の受難)(大斎・小斎)
 - 3日(土) 聖土曜日
 - 4日(日) 復活の主日
 - 11日(日) 復活節第2主日(神のいつくしみの主日)
 - 18日(日) 復活節第3主日
 - 25日(日) 復活節第4主日
 - 29日(木) 聖カタリナ(シエナ) おとめ教会博士 昭和の日

宇和島教会創立100周年の祈り

「全ての人々をいつくしまれる父なる神よ、今の宇和島の地を祝福して下さい、あなたのお計らいによって、真の命の言葉である福音をもたらして下さいことを感謝します。

あなたの召命によって福音宣教のため今の地に身を捧げて下さった宣教師の方々の意思を受け継ぎ百周年を迎えることになった今日福音宣教のために身を投じる人を今度は送り出すことが出来る召命の泉を与えて下さい。

あなたの恵みに支えられて豊かに導かれますように。主キリストによって、アーメン。」

諏訪榮治郎司教 認可2020年11月

Prayer for the Centennial Celebration of Uwajima Catholic Church

" God the Father who cares for all people, We thank you for blessing the land of Uwajima, for bringing us the Gospel, the true Word of life

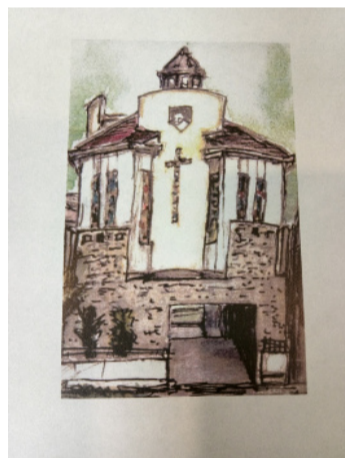
according to your will.

Today, as we celebrate the centenary of our Church, we want to succeed in passing on the will of the Missionaries who dedicated their lives to evangelize this land.

If it is your will, give us more vocation, men & women who will dedicate themselves for evangelization.

May you support us by your abundant grace and guidance, through Christ our Lord. Amen "

Bishop Apostle John, Eijiro Suwa admitted November, 2020



子どもと女性をまもる委員会

聖職者による性的虐待

相談窓口

電話番号：087-831-6659

相談窓口受付時間
月曜日から金曜日(祝日除く)
午前9時~午後5時

高松教区対応チーム

高松番町教会創立百周年の祈り

(番町教会の祈りもご紹介します。)

いつくしみ深い神様、高松番町教会創立百周年を迎えるにあたり、心から賛美と感謝の祈りを捧げます。

世界は百年の長い歴史の間に、悲惨な世界大戦や種々の困難を乗り越えて、あらゆる命を大切にすることの尊さを学びました。現代の教会は第二バチカン公会議によって新しい風が吹き込まれ、世にあって教会の本来の召命と使命に気が付き、キリストのいのちの喜びを力強く生きるものとなりました。教会にとって何が大切なのかを、言葉と行いによって証して下さった信仰の先輩方から感謝いたします。



創立百周年記念を機に、新たにされて祈ります。主よ、百年前に香川県の最初の宣教の場として、あなたは高松番町教会をお建てになりました。時代とともに取り巻く社会や教会環境の変化はあっても、主が言われた「あなたもわたしのぶどう園に行き働きなさい」の言葉は永遠に変わることがありません。高松番町教会の神の民一人一人が、キリストに結ばれた者として、地域社会の中で平和の道具として働く奉仕職の上に、豊かな聖霊の導きと照らしを祈り求めます。

私たちの主イエス・キリストによって、アーメン。
諏訪榮治郎司教認可 2020年10月

いのちの電話

時刻は深夜の2時過ぎ。長い電話相談が終わって、またベルが鳴った。「はい『いのちの電話』です。」「あの…」の一言で沈黙が続き、ため息が伝わる。やがて「つらくて、もう死にたい…」と涙声で再び長い沈黙。家庭問題を抱えた50代の女性と思われる。「死にたいほどつらい気持ちを感じて下さい」と伝え、途中で切られないように気を配る。…70分及び傾聴で、どうにか気持ちを戻した様子。警察庁の自殺統計によると、全国で昨年の自殺を26年前・筆者の記憶から。者は11年ぶりに前年を上回った。この誰か分からない。回り2万1077人。女性を分かつ合う「いのちの電話」が日本で始めて50年。高松教区内でも四県で活動している。相談ポランティアはカトリック信者を含め約280人の影響が大きい」と分析する。高知では熱心だった故シモンズ神父さんが独自の相談活動から「いのちの電話」(M)